

## “お名前をどうぞ”“ありがとうございます”



山森真由美（医療安全推進室）

### 医療安全推進室とは？

病院は、患者さまに安心して受けられる安全な医療を提供しなければなりません。そのためには、病院全体で取り組みを行っていくことが必要です。医療安全推進室は、その名の通り「安全な医療を推進するため」の実務を担当しています。



### 安全は名前から

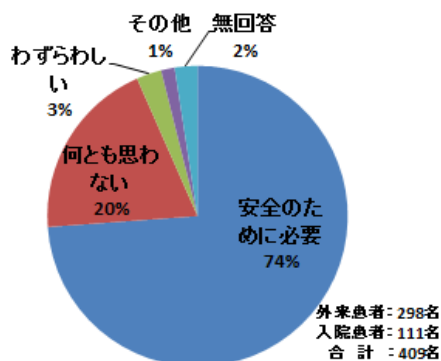
起こしてはいけない医療事故の一つに患者さまの取り違いがあります。もし、Aさんに行うべき治療を誤ってBさんに行ってしまうと命に関わる大事故につながりかねません。

このような患者さまの取り違い事故防止のひとつとして、患者さまご自身の口からフルネームで名乗っていただくことが有効であることは広く知られており、当院でも患者さまにご協力をお願いしています。

昨年の12月に外来・入院の患者さまを対象に「お名前を名乗って頂くこと」についてのアンケート調査を行い、外来298名、入院111名、合計409名の患者さまにご協力をいただきました。この場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

今回は、結果の一部をご紹介します。

毎回お名前を名乗っていただくことをどう思いますか。



### 毎回お名前を名乗っていただくことをどう思いますか？

この質問に3/4近くの方が安全のために必要だと回答されました。みなさんの意識はとても高いことがわかり、大変感銘しました。

しかし、医療者のほうでは、何度も名前を尋ねると患者さまに嫌がられるのではないかと理由で患者さまの確認が確実に行われず患者さまの取り違いが発生しているのも実情です。当院では1日に外来約1,000人、入院約300人の患者さまがいらっしゃいます。同姓や似たお名前の方々も多くいらっしゃいます。また、聞き違いや思い込みで間違えることは、誰にでも起こり得ることです。

### みんなで取り組むことが大事

もちろん、そのような事故を起こさないために私たち医療者は細心の注意を払っています。そのうえで、患者さまからもご協力を得られると、確認行為の精度はさらに高くなることが期待できると言われています。

安全・安心な医療が行われるためには、医療者だけではなく、患者さまにも注意の意識を持っていただき、それぞれが安全のためにできることを一緒になって取り組んでいくことが大切です。ぜひ、ご協力をお願いいたします。なお、アンケートの詳しい結果は、このつつじ通信が発行される頃に正面玄関口に掲示する予定です。こちらも合わせてご覧ください。

